

企業成長における中小企業事業の貢献

公庫資金をご利用された方々が多くの分野でご活躍されています。

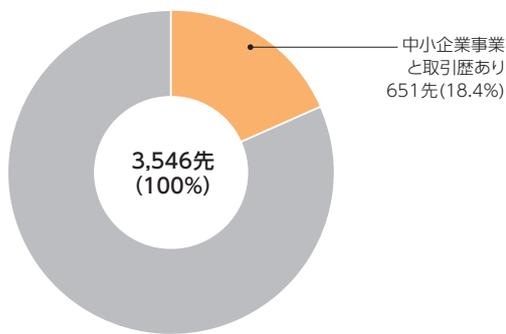
651先の取引企業が株式を公開

中小企業事業は、中小企業専門の政策金融機関として、中小企業者の皆さまの成長・発展を支援しています。これまで中小企業事業との取引を経て、株式の公開を果たした企業は、株式公開企業の約2割にあたる651先^(注)となっております。多くの方々がわが国を代表する企業として活躍されています。

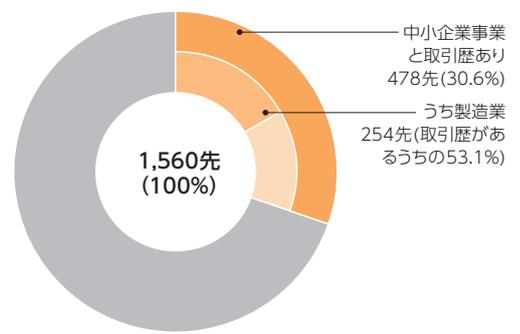
特に、平成元年以降については、中小企業事業との取引を経て株式を公開した企業は478先^(注)と大幅に増加しており、同じ時期の株式公開企業の増加数である1,560先^(注)のうちの約3割を占めるに至っています。

(注)先数は平成31年3月31日現在において株式を公開している企業数です(上場廃止、合併による消滅等を除く)。

中小企業事業と取引歴を有する株式公開企業



中小企業事業と取引歴を有する株式公開企業 (平成元年以降)



(注) 日本公庫中小企業事業調べ。株式公開企業数は、平成31年3月31日現在。農林・水産、金融・保険及び外国企業を除きます。

公庫第一回取引から公開までの平均年数内訳 (平成元年以降)

業種	企業数	平均年数
製造業	254先	18年
物品販売業	86先	13年
サービス業	50先	13年
その他	88先	10年
合計	478先	15年

創業期に受けた価値ある融資

京セラ株式会社(東証一部上場)名誉会長 稲盛 和 夫

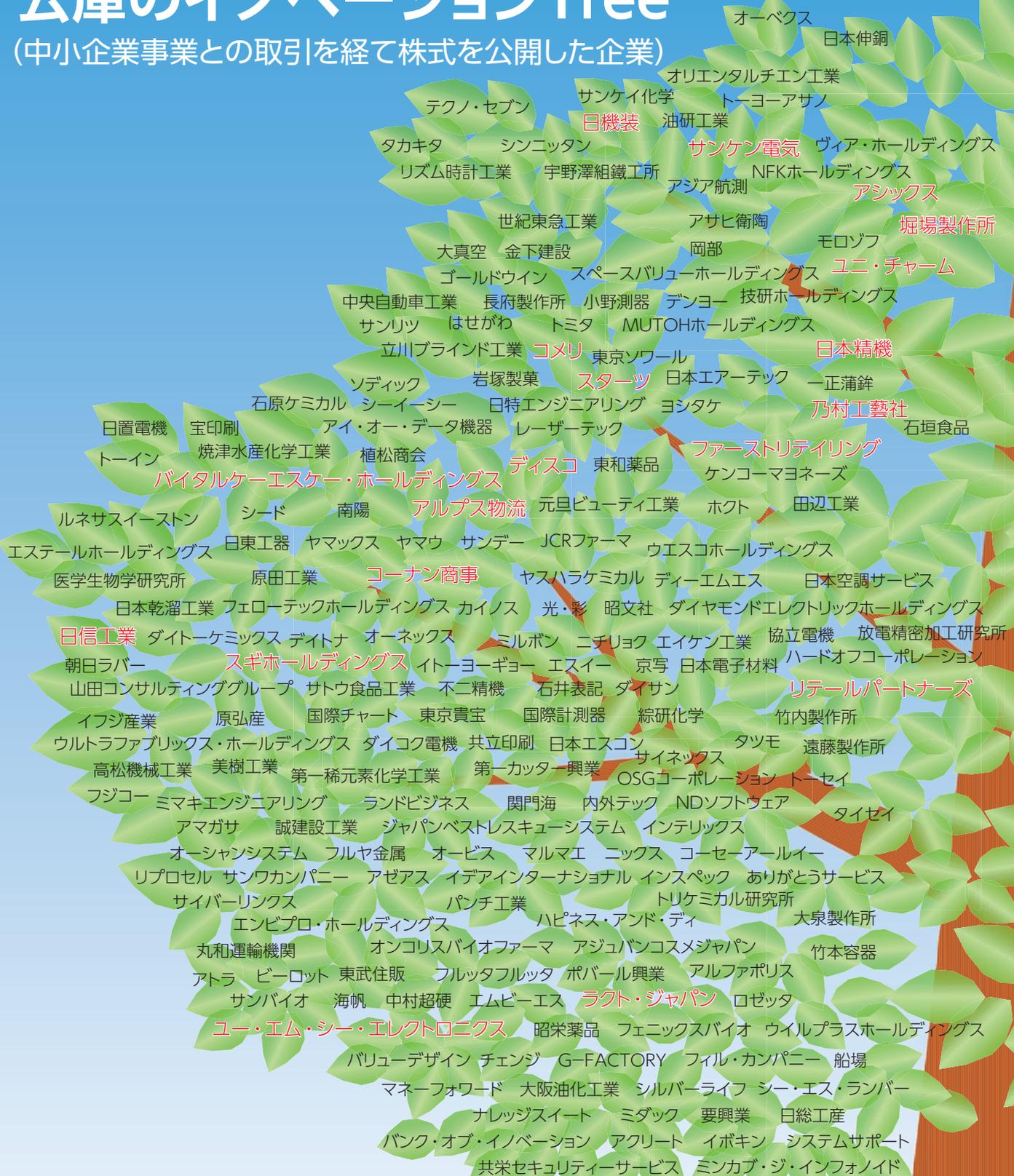
京セラ創業3年目の頃、当時専務だった私は、銀行に設備投資の資金を借りにいきましたが、担保もなく結局お金を借りることはできませんでした。最後に中小企業金融公庫を紹介され、是非にとお願いして支店長に会わせていただき、「我々は創業間もない零細なベンチャー企業です。私どもは創業初年度から10数%の利益を出しています。私の過去3年間の努力と実績を信用して何とか貸していただけませんか」と、とつとつとお願いをいたしました。暫くして支店長は、私の誠意が通じたのか、「わかりました。あなたがこれから融資を受けようとする設備を担保にお金を貸しましょう」と言ってくださいました。これまでの金融機関の常識では、大変リスクのある決断ですが、私を信じて持ち込み担保という方法での融資を決断された支店長の勇気に対し大変感激したことを覚えています。

40年ほど前、どの金融機関も相手にしてくれなかった私どもに人物本位で資金の貸付をしていただいた当時の支店長のご決断によって、今日の京セラが存在しております。

(出典)平成15年12月中小企業金融公庫発行「中小企業金融公庫五十年史」コラムより抜粋(寄稿者の役職名は寄稿当時のものです)。

公庫のイノベーションTree

(中小企業事業との取引を経て株式を公開した企業)



企業成長における中小企業事業の貢献

公庫 (中小企業事業) は、



(上場年)

企業の成長・発展を支援

(注1) 中小企業事業との取引を経て株式を公開した企業(平成31年3月31日現在)のうち、企業名掲載の応諾を得た企業を掲載。
 (注2) 売上規模1,000億円以上は大文字、赤字で記載。